

普遍ニュースレター

Newsletter from Center for General Education, Chiba University

Design : CHIYARA Kazuhiko

2010.10 No.07

“普遍ニュースレター”は、
普遍教育センターの活動を中心に普遍教育・大学教育の動向に関する情報を
定期的に紹介していきます（年3回刊行予定）。

●平成22年度の学部訪問について

普遍教育センターでは、6月中旬から9月初旬にかけて、9学部すべてに訪問し、学部長、教務委員長をはじめ多くの先生方にお会いして、普遍教育センターの今年度の主な事業推進方針につき、意見交換をさせていただきました。

中心のテーマは2点です。ひとつが、教養展開科目に関するセンターの方針案（①卒業要件単位数については、現状のままとする。②教養展開科目の授業提供については、部局割り当てを行わない。）について、そしてもうひとつが、理系学生のための文系科目の開講及び文系学生のための理系科目の開講についてです。

どちらのテーマについても、すべての学部でご賛同をいただきました。その過程で、テーマの推進に対して、西千葉以外のキャンパスでの普遍教育科目が履修できる体制の要望や、現代的課題を理解するための科目開講の必要性など、貴重なご意見もいただきました。こうしたご意見も今後の普遍教育の企画運営に参考にさせていただきます。

このほか、各学部の教員の普遍教育担当状況について資料でお知らせするとともに、ひきつづき全学出動体制の趣旨の周知を徹底することと普遍教育の運営へのご協力をお願いいたしました。

普遍教育の企画運営の責任を担う当センターとして、毎年実施している学部訪問は、センターへのご理解をいただくとともに普遍教育に対する各学部のお考えを直接伺うことのできる大切な機会と位置づけています。

今後とも普遍教育へのご協力をお願いいたします。

普遍教育センター 前田早苗

普遍教育センター拡大学習会「英語教育の現状と課題」を開催（10月5日）

10月5日、「英語教育の現状と展望」をテーマとして、全学FD推進企画室との共催による普遍教育センター拡大学習会を開催しました。言語教育センターの高橋秀夫教授と土肥充准教授より話題提供いただいた後、約30名の参加者と意見交換を行いました。

土肥准教授からは「英語教育におけるTOEIC-IPの効果と今後の展望」として、2007年度より大学が受験料を負担して全1年生に受験機会を提供しているTOEIC-IPテストについて、2010年度1年生の平均点、過去4年間の平均点の推移、受験機会提供以降に中級英語・上級英語科目の履修学生数増加などの成果が紹介されました。高橋教授からは「英語 Online

CALL システムについて」として、千葉大学の英語教育システムの特徴のひとつであるCALLシステムについて、システムと教材の特徴、教育効果などが紹介されました。そして、文科省“現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）”の成果として開発されたオンラインCALLシステムが紹介され、その教育成果が報告されました。その後、参加者との間で「CALLシステムの専門学部での英語教育への応用可能性」、「授業のみで終わらない学習時間確保の可能性」「TOEIC-IPテストの成果を英語教育に反映し、英語力の向上に活用していく重要性」などが議論されました。当日の資料は、全学FD推進企画室の学内ホームページに掲載されますので是非ご参照ください。

（白川優治）

開催予定

●第4回普遍教育シンポジウムの開催（11月2日13時半開催予定）

『幅広い学びの推進—理系学生のための文系科目と文系学生のための理系科目の開設に向けて—』をテーマに第4回普遍教育シンポジウムを自然科学系総合研究棟1階会議室で開催します。

分野・水準表示法を導入し、副専攻制度を実施する新潟大学の取り組みや、普遍教育の具体的な授業実践事例から、幅広い学びを推進していく方策を考える機会とします。多くの教職員の方々のご参加をお待ちしています。

●学生懇談会の開催（11月16日16時半開催予定）

普遍教育について、授業を受ける学生の立場からの率直な意見を聞き、教育の改善を図るために、学生との懇談会を開催します。また、学生からの授業提案のような積極的な希望を今後の普遍教育に取り入れる機会とします。ご参加は自由です。

●TA報告会とTA研修会を開催しました

普遍教育センターでは、普遍教育科目のTAを担当する大学院生への事前研修会と事後報告会を開催しています。8月10日に平成22年度前期科目のTA報告会、9月29日に後期科目のTA研修会を開催しました。TA報告会ではTA担当大学院生からの意見や経験を集約し、TA研修会ではTAとしての心構えや実務的な連絡を行いました。普遍教育の充実のためにTAの果たす役割は大きく、普遍教育センターでは引き続きその充実のために取り組んでいきます。

●専門教員集団主任・副主任会議を開催しました

9月14日、専門教員集団主任・副主任会議を開催しました。平成23年度の普遍教育科目・共通専門基礎科目の授業計画の予定等についての連絡と意見交換が行われました。11月から12月にかけて、専門教員集団主任・副主任の先生方を通じて、次年度の授業計画をお願いすることになります。普遍教育のさらなる充実のためにご協力をお願いいたします。

言語教育センターより

○ ウェブ型英語学習支援プログラム

8月9日付けで各学部教務関係委員長および各研究科教務関係委員長に通知したとおり、言語教育センターから、2つのウェブ型英語学習支援プログラムを公開することになりました。

(1) 「海外大学英語講義集」 (<http://english-chiba-u.jp/youtube>)

海外の大学ではYouTubeで著名な教授の講義を公開しており、世界中で視聴されています。ところが、音声と映像だけがそのまま公開されているために、講義によっては、何度聞いても一部の表現が聞き取れないこともあります。本サイトは、ひとつの試みとして20ほどの講義を選び、その講義内容の全文を書き起こしました。講義内容が音声・映像とともに文字でも表示されるので、視聴者の専門とする領域の講義のみならず、視聴者が専門としない領域の講義も楽しく聴講できます。このウェブ講義集はすでに多数の学外関係者から高く評価されています。

(2) 統合型英語 Online CALL システム (<http://call.f.chiba-u.jp/>)

これまで言語教育センターのCALL教室、自習室（および西千葉、亥鼻、松戸キャンパスの図書館）でしか利用できなかったCALL教材に学内外のどこからでもアクセスできるようになりました。本サイトで使用される動画素材は、アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダで独自に収録されたもの（一部国内収録）で、学習者の興味、英語力に応じてさまざまな英語聞き取り力、語彙力を向上させる教材が用意されています。これらの教材は現在、普遍教育科目「CALL英語」で使用されていますが、授業履修者以外でも本学の学生、院生であれば、利用できます。

○ FD関係

5月に英語科目の非常勤講師の先生方と専任教員との懇談会を開き、そこでさまざまな教務関係の要望が出されました。このことについて普遍教育課学務グループより回答があったので、各教員にフィードバックし、授業を円滑に進めていただけるようにしました。

（言語教育センター 久保田正人）